

NEWS RELEASE

**三重大学・石水博物館による
学術連携・協力に関する協定書 締結式のご案内**

国立大学法人三重大学・公益財団法人石水博物館は、6月23日(金)、学術連携・協力に関する協定書の締結式を行いますので、下記の通りご案内申し上げます。

記

日 時	令和5年6月23日(金) 14:15~14:50
場 所	石水博物館2階 多目的室
出席者	石水博物館 理事長 伊藤歳恭 事務局長 野崎昌孝 三重大学 学長 伊藤正明 理事(研究、情報担当)副学長 吉岡基
式次第	1. 開式 2. 出席者紹介 3. 代表者挨拶(三重大学長、石水博物館理事長) 4. 協定書署名・記念撮影 5. 閉式 *終了後、質疑応答、三重大学生による展示解説(1階・第1展示室)を行います

【概要】

本協定は、教育研究と社会連携活動を推進する本学と、所蔵資料の調査研究・展示等を通じて地域文化の振興を担う石水博物館が連携し、当地域の学術的・文化的・教育的活動を推進することを目的として締結するものです。

石水博物館は、津の豪商・川喜田家の十六代当主であり陶芸家としても知られる川喜田半泥子が、地域文化の振興と社会福祉活動の拠点として設立した財団法人石水会館を母体としており、地元にも根ざした展示会の開催や、収蔵資料の調査研究を実施してきました。川喜田半泥子の作品、伊勢商人関係文書、多様な古典籍、本草学の図譜類、からくり人形など、収蔵品の領域分野は多岐にわたります。

本学では、教員が収蔵文書の調査に携わるなど、連携活動を行ってきました。令和4年度からは、博物館で発見された浮世絵貼交帖(はりませちょう)の調査に学生が参画し、目録化を進めています。これらの実績に基づき、今後組織的に連携するための協定を締結します。

本協定により、今後は次のような連携を予定しています。

○資料の調査研究

連携実績のある歴史・文学・美術資料の調査に加え、本草学関係文書などの学際的資料調査
総合大学としての本学の強みを生かし、工学的・自然科学的分析など、幅広い見地からの資料調査

○教育・文化活動

博物館による学芸員養成のための実習学生の受入
博物館を活用した大学授業の実施
学生サークルとの呈茶会の共同開催

○連携事業の成果発表

連携研究の成果による展覧会
本学情報ライブラリーセンター(図書館)での博物館資料展示
シンポジウム・講演会などでの情報発信

協定書締結式は、浮世絵貼交帖の調査成果も反映された本学特別協力展覧会「英雄伝説―博物館でヒーロー発見―」の開催前日にあたる6月23日(金)に執り行います。

締結式後に開催する展示解説では、調査に参画した学生が、本物の資料に向き合った思いと共に展示の魅力を語ります。ぜひ取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<本件に関するお問合せ>

【締結式の取材申し込み、式の内容に関すること】

石水博物館 学芸課

TEL: 059-227-5677 E-mail: office@sekisui-museum.or.jp

【協定の内容に関すること】

三重大学国際・情報部図書館チーム

TEL: 059-231-9032 E-mail: lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp